

平成22年度国立大学図書館協会賞審査結果報告

1. 応募区分 : 図書館活動における功績
2. 対象者 : 琉球大学附属図書館「琉球大学びぶりお文学賞」担当
3. 件名 : 琉球大学附属図書館における教養教育支援としての「琉球大学びぶりお文学賞」活動
4. 結果 : 採択

5. 理由 :

本件は、文学賞を創設し、学生から小説作品を公募して受賞作を選定し、作品集として発行するまでの一連の事業を通して、学生の言語力、表現力、想像力を涵養することを目的とした教育支援活動である。

平成19年度に「琉球大学びぶりお文学賞」を創設し、すでに2回の受賞作発表を行い、受賞作品集2冊を刊行しており、メディアを通じて、教育支援としての文学賞の存在が広く地域社会に知られるところとなっている。事業内容やその実施には図書館職員が深く関わっており、従来の図書館活動には例のない教育支援活動としての観点から応募されたものである。

琉球大学のこの教育支援活動は、次の点で「国立大学図書館協会賞選考基準」第4条1項1号に該当するものとして国立大学図書館協会賞に推薦する。

- (1) 図書館が主体となって実施する文学賞は、国立大学として初の実践例であり、学生の表現力の涵養および地域社会の文化活動リーダーの育成という新しい図書館活動の可能性に踏み込んだ取り組みとして先行性、独創性が認められる。
- (2) 選考委員は大学教員であるが、事業実施や選考過程に図書館職員が関わり、作品集の発行に関しても主導的な役割を担うことにより、図書館と図書館員の役割に対する社会の認識を高めた点についても評価できる。また、文学賞の創設、受賞作品の発表、作品集の発行などが折々地元メディアに取り上げられたことにより、大学図書館の事業をわかりやすく地域社会に浸透させた点も成果と認められる。